



TOSHIBA REVIEW
60TH ANNIVERSARY

東芝レビュー創刊60年を迎えるにあたり

T O S H I B A R E V I E W

技術とともに60年

東芝レビューは、今年創刊60年を迎えることとなります。

東芝における技術広報誌の発行は1922年の“芝浦レビュー”までさかのぼりますが、現在の“東芝レビュー”は1946年（昭和21年）が創刊となっております。この間、本誌をご愛読いただいた方々に厚く感謝の意を表します。

また、今年は東芝創立130周年でもあります。東芝の創立者“からくり儀右衛門”こと田中久重が1875年（明治8年）7月1日に銀座煉瓦（れんが）街に開いた1軒の店舗兼工場が「東芝」の源となっております。その久重翁の精神、すなわち“夢を実現したい”という飽くなき探究心、店舗の看板に掲げられた「万般の機械考案の依頼に応ず」に代表される“世の中に役にたちたい”という、情熱と顧客指向の精神は現在の東芝に脈々と受け継がれております。

久重翁が東芝の前身をつくった当時の日本は明治維新による旧体制の刷新だけでなく、電信機など現在のエレクトロニクスの萌芽（ほうが）となる技術が海外から流入し、技術革新の揺籃（ようらん）期の中で東芝は誕生したわけであります。

それから百有余年が経過した現在、半導体集積回路の驚異的な発展、パソコンの普及およびインターネットの興隆により、世界規模で経済・社会構造がすっかり変わりました。われわれもこの大変革期のなかで変化にすばやく対応し、また変化を生み出す存在でありたいと思います。

東芝レビューのミッションはどんな時代でも正しく技術情報を発信し続けることにあります。60巻目は単なる通過点にすぎません。これからも最新の技術や製品を紹介し、読者の皆さまのお役にたちたいと考えております。今後とも、本誌に対しご愛顧ご指導いただけるようお願いいたします。



執行役上席常務 東 実